

伊那市ICT活用教育推進テーマ

未来を生き抜く力を育む

～「探究的な学び」と「先進的な学び」を支えるICT活用～

伊那市のICT活用教育の推進は、市長主導による「新産業技術推進協議会」の教育部会が2017年に提起した「学校教育の情報化ビジョン2018」が端緒となっています。これを受けて、2018年から3年間、さらに2021年から3年間にわたり取り組みが行われました。2020年からは「伊那市学校教育情報化委員会」が教育部会を引き継いでいます。昨年度には「ビジョン2024」が新たに策定され取り組みが始まりました。本年度はビジョン具現化に向けて本格的に取り組みが始まります。昨年度まで取り組まれてきたICTカンファレンスは「InaWaku EDUtech」として、新たなステージへと発展していきます。

これまで主催してきた伊那市教育委員会（ICT活用教育推進センター・伊那市小中学校情報委員会）に、伊那市校長会・教頭会（学力向上検討委員会）が共催として加わり、本年度の活動が行われます。

本年度は「CIO EDUtech（旧 学校CIO研修会）」において本年度の各校での取り組み内容を共有します。

10月の「InaWaku EDUtech 2025」では各学校での具体的な取り組みを共有し議論を深めます。

詳細につきましては今後「ICT通信」などでお伝えしていきます。

また、「ICT活用教育」は昨年度末に100号を発行し完結しました。GIGAスクール構想が展開される中、伊那市内でのICTの有効活用について4年間にわたって実践の紹介を行ってきました。これからは、教育（授業づくり）を支えるテクノロジーの意味合いを持たせた内容の「EDUtechINA」を刊行していきます。伊那市内で行われるワクワクする授業づくりを積極的に紹介していきます。

CIO EDUtech 2025

2025. 6. 4（水）

InaWaku
EDUtech
2025

2025.10.29（水）

伊那市「教職員の研修日」 悉皆研修

主催：伊那市教育委員会

伊那市ICT活用教育推進センター
伊那市小中学校情報委員会

共催：伊那市校長会 教頭会

伊那市学力向上検討委員会

伊那市学校教育情報化ビジョン実現への橋渡しの年となった2024年の取り組み

学校CIO研修会・ICT Conference 2024



小学校5年 算数

あまりの小数点の位置について考えよう

子どもたちは小数の割り算について学習をしています。本時では、小数の入った割り算の場面で、あまりの小数点の位置がどこになるのか、また、その理由を説明することに取り組みました。

多くの子どもたちが「24.5mと5.6mのまま筆算をして4本できて21mある」と答えますが、次第に疑問が膨らんでいきます。



小学校6年 音楽

声の響きが重なる面白さを生かして音楽を作りましょう

子どもたちは、音のつながり方や重ね方を工夫して、グループでのオリジナルのボイスアンサンブルづくりに挑戦します。グループごとで決めたテーマに沿ってイメージを作り上げていきます。できあがった演奏を動画にして共有しさまざまな意見をもらいながらブラッシュアップしていきました。



小学校5年 算数

2つの三角形の面積の大きさを判断し理由を説明しよう

算数の学習で子どもたちは、自分たちで問いを見出し追究を深めていこうとしています。ここでは、試行錯誤していくことで気づいた判断の根拠を示したり、その気づきがどのように生まれたのかについて議論や考察したりすることで、数学的な追究が深まっていくことを願っています。



中学校3年 英語

聞き手を意識して、わかりやすいスピーチをしよう

文化祭の英語弁論発表会でスピーチを行うための原稿づくりを行います。「聞き手にとってわかりやすいスピーチとは何か」を意識しながら原稿を書いていきます。本時ではお互いにスピーチを聞き合ったり、スピーチの様子を動画に撮影して見合ったりすることによって、聞き手にわかりやすい原稿につくり上げていく活動を行います。

伊那市学校教育情報化ビジョン2024

探究的な学び

先進的な学び

個別最適な学び

協働的な学び

自主的な学び

子どもと共に未来を創る教員